

# 令和5年度 第7回 谷浜・桑取区地域協議会

## 次 第

日時：令和6年1月22日（月）午後6時30分～

会場：谷浜・桑取地区公民館 2階 大会議室

### 1 開 会

### 2 会長あいさつ

### 3 議 題

#### 【報告事項】

- ・日帰り・宿泊温泉施設の適正配置の取組について
- ・上越市消防団上越方面隊谷浜分団の組織体制の見直しについて

#### 【自主的審議事項】

- ・伝統行事、史跡、文化の継承について
- ・来訪者を受け入れるための地域づくりについて

### 4 その他

- ・次回地域協議会

令和 年 月 日（ ）午後6時30分～ 谷浜・桑取地区公民館

### 5 閉 会

## 日帰り・宿泊温浴施設の適正配置の取組について

## 1 施設の現状

- ・ 当該カテゴリーの施設は、合併前の各市町村において、主に地域振興を目的に国県等の補助金を活用し建設されたもの
- ・ 現在供用中の施設は9施設、うち、現状維持施設が2施設（くるみ家族園、うみてらす名立）、温浴機能廃止後の施設の活用方法について地元と協議中の施設が1施設（ろばた館）、引き続き協議となっている施設が6施設となっている。

## 【引き続き協議となっている6施設の状況】

No.	施設名	利用者数(人)		R4 公費 投入額 (千円)	施設設置年	
		当初	R4			※法定 耐用年数
1	大潟健康スポーツプラザ 鶴の浜人魚館	168,662	77,493	77,500	H9	R10
2	吉川ゆったりの郷	158,028	110,674	27,336	H9	R10
3	くわどり湯ったり村	121,396	28,646	50,338	H11	R28
4	牧湯の里深山荘	50,328	11,111	24,848	S61	R15
5	柿崎マリンホテルハマナス	23,667	12,071	41,467	H6	R23
6	板倉保養センター（やすらぎ荘）	73,834	32,500	16,960	H8	R11
計		747,598	272,495	238,449		

※ 法定耐用年数 …… 国税庁が定める法定耐用年数に到達する年度

## 2 第4次上越市公の施設の適正配置計画（令和3年2月策定）に基づく取組

## (1) 6施設の取組方向

地域振興において、これまで重要な役割を担ってきたことから、地域の実情を踏まえ、地域住民等と協議し方向性を検討していくこととしている。

## (2) これまでの取組

## ア 施設の現状の地域への報告（令和2年度から）

毎年度、指定管理者である「第三セクター等」の経営状況とあわせ、施設の利用状況や収支状況について、施設が所在する地域協議会等へ説明し、意見交換を実施

## イ サウンディング型市場調査の実施（令和4年度）

時期	内容
令和4年 7月～8月	施設機能の継続に向け、民間活力の活用を検討することとし、各施設のサウンディング型市場調査の実施について、地域協議会へ説明し、意見交換
令和4年 9月～12月	サウンディング型市場調査を実施 「民営化（施設の譲渡・貸付け）による施設の利活用の提案」や「現状の公設民営による運営を前提とした施設の利用促進等に係る提案」について、対話を実施し、一部施設で民間事業者の需要を確認
令和5年3月	各施設のサウンディング型市場調査の結果について、地域協議会へ説明

## ウ 第三セクター等評価委員会（外部有識者）における取組（令和5年度）

- ・ 第1回第三セクター等評価委員会（5月26日）  
施設利用者数の推移を始めとする「施設の利用状況」について説明
- ・ 6施設の視察（9月21日、22日）  
施設の利用状況について視察するとともに、現管理者に客層等をヒアリング
- ・ 第2回第三セクター等評価委員会（11月2日）  
本取組について説明し、アドバイスを受ける。

### 3 今後の取組

#### (1) 基本方針

- ア 施設の管理は民間活力の活用を基本とし、施設の機能継続や更なる利活用に向け、施設の譲渡・貸付けによる民営化や指定管理者への民間参入を検討する。
- イ 民営化できない施設については、公の施設としての必要性を地域住民等と時間をかけ協議し、方向性を検討する。
- ウ 施設建設から相当程度の年数が経過し、老朽化も進んでいることを踏まえ、施設の建替えや大規模なリニューアルは行わない。

#### (2) 機能継続に向けた民間活力の活用

##### ア プロポーザルの実施（令和6年4月以降）

- ・ 温浴施設の機能継続に向け、民間の自由な発想の下、行政の管理に縛られない幅広い施設の活用方法について提案を受ける。
- ・ 民間事業者から良い提案があり、機能継続が見込まれる場合は、施設の譲渡貸付けによる民営化を検討する。
- ・ なお、機能継続に必要な財政支援についても検討する。

##### 【プロポーザルになじまない施設】

施設名	理由
大潟健康スポーツプラザ 鵜の浜人魚館	上越体操場の機能と鵜の浜温泉街の魅力を相乗的に高める可能性を持つため
吉川ゆったりの郷	行政が設置（運営）する「道の駅」の主要施設の一つであるため

##### イ 指定管理者の公募（令和6年9月以降）

- ・ プロポーザルになじまない施設を含め、民営化できなかった施設については、令和7年4月の指定管理者の更新に際し、指定管理者を公募により選定する。
- ※ プロポーザルや指定管理の公募に当たっては、第三セクター等を含め現在の指定管理者の事業譲渡・従業員への雇用継続を条件とする。

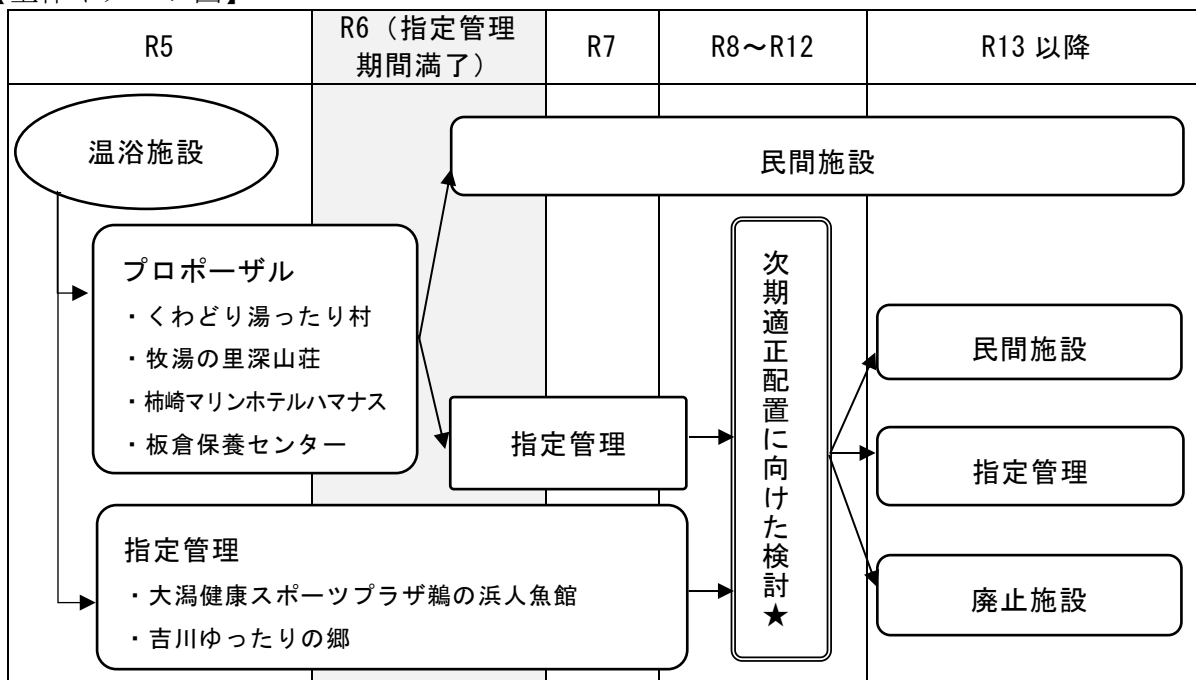
#### (3) 公の施設としての方向性の検討（令和8年度から12年度）

- ・ 次期上越市公の施設の適正配置計画（令和13年度からの10年間）の検討に当たり、スポーツ施設や集会施設とあわせ、民営化できなかった日帰り・宿泊温浴施設について、公の施設としての方向性を地域住民等と時間をかけて協議し、方向性を決定する。

##### 【参考：本取組に関する第三セクター等評価委員会の見解】

- ・ 長い期間での取組になる点が若干気になるが、方向性については妥当と考える。
- ・ 事業承継・引継ぎ支援センター（国が設置する公的相談窓口）の経験から、海沿いの施設については、長野県など海なし県の事業者にとって、非常に価値があるものだと感じている。
- ・ 資産を譲渡し、民営化することにより、条例等に縛られることなく、民間事業者が自由な発想で運営できると考えられる。

【全体イメージ図】

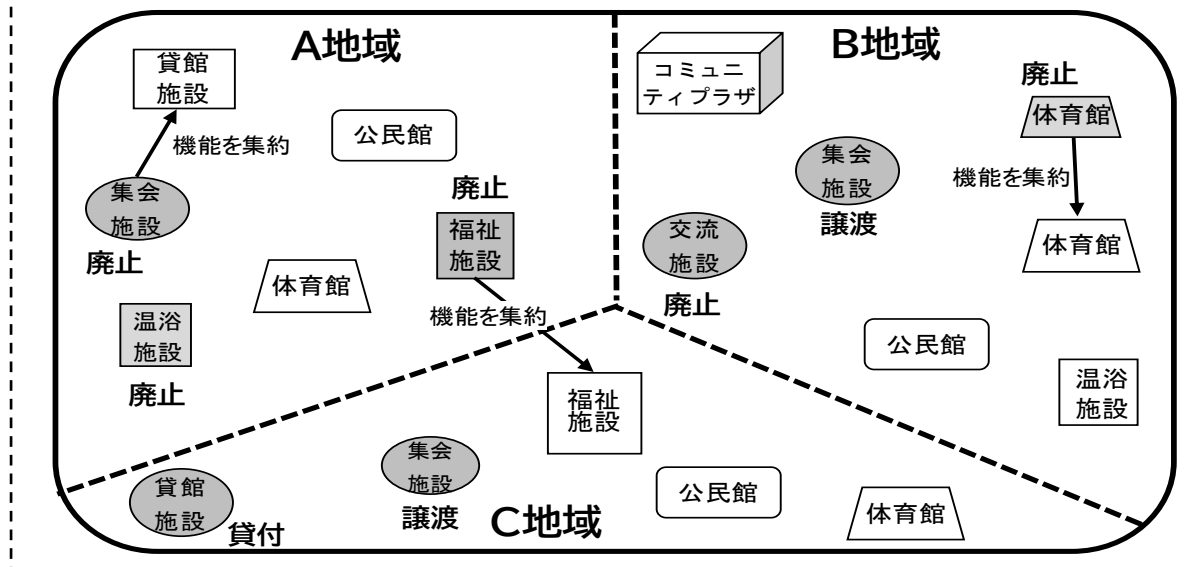


※ 基本的に上記のイメージ図のとおり取組を進めていくが、老朽化等により施設の機能維持が困難になった場合や地域社会の状況変化によって施設の必要性が著しく低下した場合は、その時点で地域と協議し、施設の方向性を決定する。

★【補足：次期適正配置に向けた検討の内容】

- ・ 第4次上越市公の施設の適正配置計画に記載している下記の考え方にに基づき検討を進めるもの

- ・ 施設の適正配置の検討に当たっては、施設の用途や機能、利用圏域（施設の利用者の居住地域）等を踏まえ、該当するカテゴリーの各施設を「広域拠点施設」、「市域拠点施設」、「地域圏拠点施設」、「生活圏拠点施設」、「コミュニティ圏拠点施設」に区分し、それぞれの区分において、各カテゴリーにおける施設の配置バランスを検討する。
- ・ 「地域圏拠点施設」及び「生活圏拠点施設」については、地域のまとまりや居住状況のほか、カテゴリーごとの施設の配置状況等を踏まえ地域区分を設定する。



## 上越市消防団上越方面隊谷浜分団の 組織体制の見直しについて（報告）

上越市消防団では、団員の減少等に伴い、消防団の役割を果たすことが困難になりつつある状況を踏まえ、将来を見据えた「組織体制の見直し」と「消防団員の確保」に向けた取組を進めているところです。

上越方面隊谷浜分団では、これまで検討を重ねた結果、令和6年4月1日から「高住消防部」と「桑取消防部」が統合し、「谷浜南消防部」として体制を見直すことといたしました。

### 1 谷浜分団の見直し前後の体制

#### (1) 見直し内容

※変更箇所アンダーライン

見直し前			見直し後		
消防部	団員数	管轄町内会	消防部	団員数	管轄町内会
<u>高住</u>	18人	高住、中桑取、西戸野 花立、西横山、小池、 西山寺、下綱子	<u>谷浜南</u>	23人	高住、中桑取、西戸野 花立、西横山、小池、 西山寺、下綱子 土口、増沢、横畑、皆 口、西谷内、北谷、大 湊、東吉尾、西吉尾
<u>桑取</u>	5人	土口、増沢、横畑、皆 口、西谷内、北谷、大 湊、東吉尾、西吉尾			

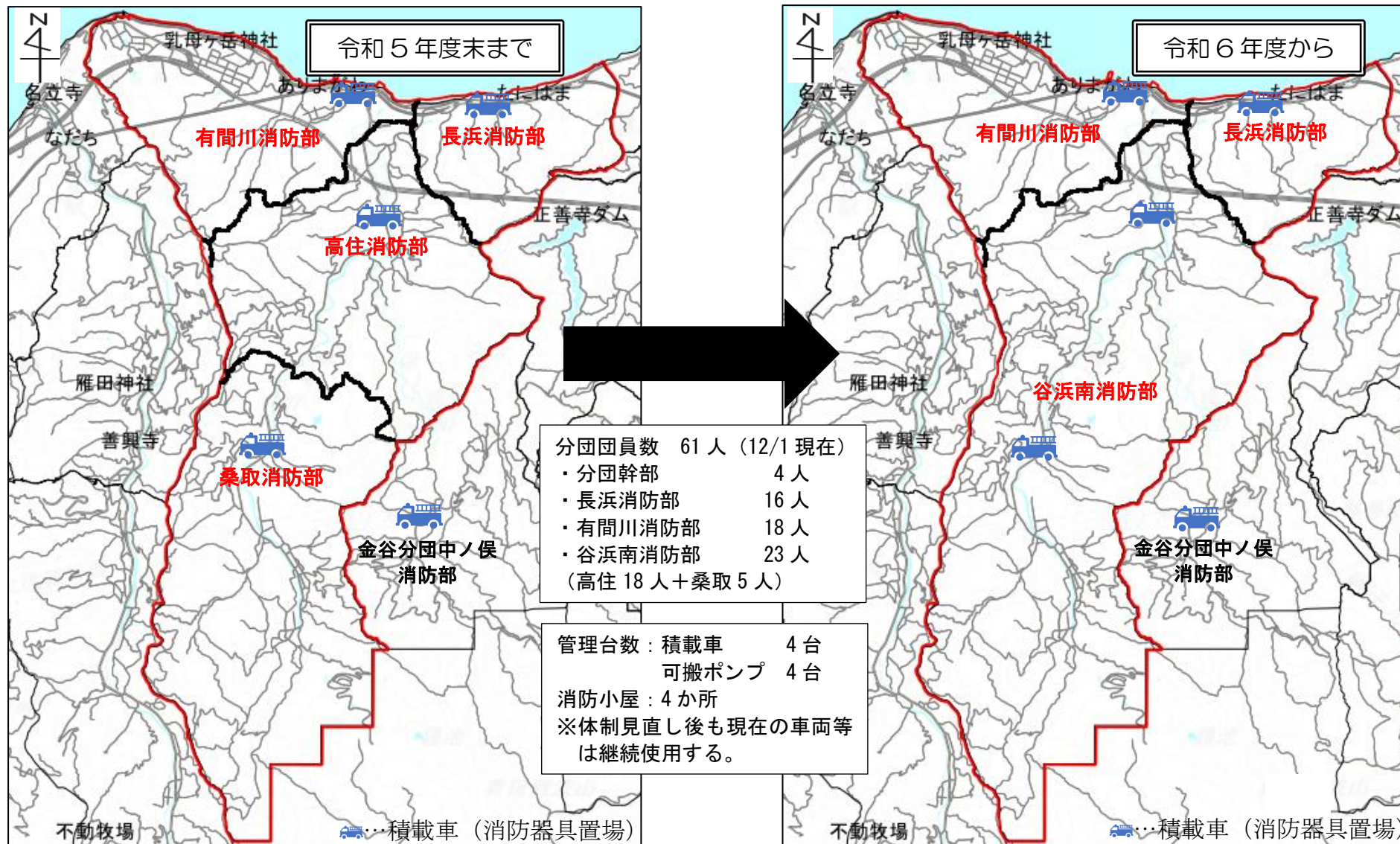
※車両及び消防小屋はこれまでどおり高住、桑取の2台、2か所を使用

#### (2) 見直し後の谷浜分団の体制

消防部名	車両(積載車)	消防小屋	可搬ポンプ	団員数
長 浜	1台	1か所	1台	16人
有間川	1台	1か所	1台	18人
【新】谷浜南	2台	2か所	2台	23人
計	4台	4か所	4台	57人

※団員数に分団幹部4人を含めていない。

## 上越方面隊谷浜分団 令和6年度からの体制見直しの概要



【自主的審議事項】 来訪者を受け入れるための地域づくり

来訪者アンケート実施に係る関係団体との  
意見交換会で寄せられた主な意見

■ 主な意見

- ・アンケートを行ってはどうかという話は仲間内でも出ていたが実現に結びつくことはなかった。
- ・アンケートについては非常によい取組だと思う。くわどり湯ったり村の宿泊客に対して、地域内の遊べる場所・立ち寄れる場所を提案できるようになるとよいのではないか。
- ・実際にアンケートを行う際、誰がやるのか、どこでやるかなど詳細は詰めてもらいたい。
- ・地域の名所としては、有間川駅や久比岐自転車道など魅力のあるところはたくさんある。地域のことを発信できる人を増やしていけるとよいのではないか。口コミで来訪者が増えることもある。

<アンケート項目について>

- ・アンケート項目⑦について、来訪頻度は、たにはま公園だけでなく地域内の各所についても聞くようにしたらどうか。
- ・アンケート項目⑧について、城ヶ峰砦は「長浜砦」とセットで一つの史跡である。「桑取道」も入れるか。
- ・アンケート項目⑧について、白山神社は、西山寺だけではなく西横山にもある。西横山の白山神社も記載するべきではないか。
- ・たにはま公園の来訪者は、20～30代の子育て世代が多い。それらの世代は、賃貸住宅に住んでいる世帯も多いと思う。それらの方々に谷浜・桑取区への移住に関する関心についても聞いてみてはどうか。

意見交換会での意見を踏まえた事務局修正案・・・別紙のとおり





<谷浜・桑取区について> 谷浜・桑取区に関する意見をお聞かせください。

**⑦ 谷浜・桑取区で訪れたことのある地域・名所等がありますか。**

(頻度…週・月・年 回)

(頻度…週・月・年 回)

(頻度…週・月・年 回)

(頻度…週・月・年 回)

**⑧ ⑦の他、知っている地域・寺社・名所・施設がありますか。**

くわどり湯ったり村（皆口）、くわどり市民の森（皆口）、平左衛門カフェ（横畑）、白山神社（西山寺・西横山）、花桃の里（中桑取）、城ヶ峰砦・長浜砦（中桑取・長浜）、有間川漁港（有間川）、鮭の採取場（有間川）、谷浜海水浴場（長浜）、阿比多神社（長浜）、乳母嶽神社（茶屋ヶ原）、三十三観音堂（鍋ヶ浦）、その他（ ）

**⑨ 谷浜・桑取区の行事で知っているものはありますか。**

西横山小正月行事「若木迎え・鳥追い・嫁祝い・オーマラ」、横畑小正月行事「馬」、「夢に出てくる盆踊り」、「くわどり収穫祭」、「子ども神楽」、「鮭の捕獲」、その他（ 、 、 ）

**⑩ 「たにはま・くわどりの里ガイドマップ」を知っていますか。**

（ 知っている（持ってる） 、 知っている 、 知らない ）

<その他（自由記入欄）>

<お問い合わせ先>

アンケートに関する事以外にも谷浜・桑取区に関するご意見等をお寄せください。

主催：谷浜・桑取区地域協議会（事務局：上越市地域政策課北部まちづくりセンター）

連絡先：上越市中央 1-16-1（上越市レインボーセンター2階） TEL025-531-1337※

※ 受付時間：平日：8：30 ～ 17：15（土・日・祝日休み）

## 【谷浜・桑取区】地域活性化の方向性

(キャッチフレーズ)

「谷浜・桑取区の自然が織りなす風光明媚な環境と地域が誇る歴史・伝統文化・行事をいかし、住民同士、楽しみながら安心して暮らせるまちを目指します。」

### 構成要素のふりかえりシート

構成要素・構成要素の内容	ふりかえり
① 伝統行事、史跡、文化の継承 ・小正月行事の開催 ・城ヶ峰砦跡の整備 ・桑取地域の里神楽の伝承 ・地域の歴史・文化への理解を深める	
② 地域のつながりを深めるための活動の推進 ・サロン活動の継続 ・住民同士が交流する行事の実施 ・地域の困りごとの解消 ・町内会行事の継続 ・同窓会組織への働きかけ ・現在の活動を維持し、新しい取組に挑戦するための仕掛け	
③ 海、山、川の恵みの活用 ・自然を活用したイベントの開催、場所の整備 ・子供たちの体験活動の継続 ・特産品の開発、活用	
④ 谷浜・桑取区すべてを楽しめる取組の推進 ・旧加賀街道を散策するコースの推奨 ・御朱印巡りできる体制を整備 ・たにはま公園内でのPR ・たにはま公園から城ヶ峰砦への登山道の開放 ・くわどり湯ったり村を利用するプランの企画・実施	
⑤ 来訪者を受け入れるための地域づくり ・四季折々の植物が楽しめる花壇整備 ・桑谷観光協会の設立 ・来訪者アンケートの実施 ・回遊性を生む道路の整備 ・移住者、小中学生の留学生の受け入れ	
⑥ 地域の情報発信 ・SNSの活用 ・たにはま・くわどりの里ガイドマップの活用 ・地域外に知られていない地域の宝の発信	